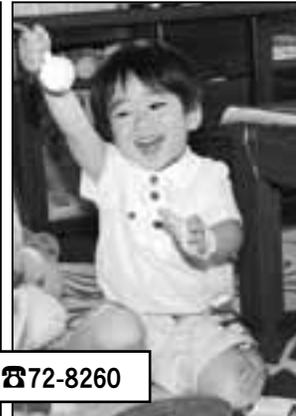




ファミリーサポートセンターってなあに？



問い合わせ 子育て支援課 ☎72-8260

子育ての お手伝いをします

雇用形態の多様化により、さまざまな育児支援が求められています。そのような声に答えていくことを目的としてファミリーサポートセンター事業が設立されました。

ファミリーサポートセンターとは子育てを応援できる人(あずかり会員)、または応援してほしい人(おねがい会員)が会員登録し、センターのアドバイザーが条件や要望に合った会員を紹介する育児支援ネットワークです。子育ての応援をしたいという地域の皆さんの協力によって成り立っていることがこの事業の特徴です。

支援の内容は、保育園・幼稚園の送迎や登園前・降園後の子どもの預かり、保護者が病気の場合の預かり、就職活動など子どもを連れて行けない用事ができたときの預かりなどで、支援場所は、あずかり会員の自宅です。現在の登録会員数は、あずかり会員80人、おねがい会員511人、あずかり会員とおねがい会員を兼ねる両方会員が38人となっています。しかし、登録

された会員さん全てが活動しているわけではなく、さらなる支援の充実のために、より多くのあずかり会員の力を必要としています。

○あずかり会員とは

市内在住で子育てのお手伝いができる人なら誰でも構いません。性別、年齢、資格は問いません。子育てを終えて、空いた時間を有効に活用したいという人が多く会員登録している。センターが開催する講習会受講後に支援開始となります。

○おねがい会員とは

市内在住で子育てのお手伝いをしてほしい人で、生後2カ月から小学6年生までの子どもがいる人が会員登録できます。

産後サポートも 行っています

出産後のお母さんの体には、休養が必要です。そんなお母さんを支えるため、産後2カ月までの間、産後サポート会員がお宅へ伺い、沐浴やおむつ交換などの育児や、食事作りなどの家事をお手伝いします。

1時間当たりの利用料金

	ファミリーサポート		産後サポート
	基本時間(午前8時～午後7時)	基本時間以外	基本時間(午前8時～午後7時)
平日	500円	600円	700円
土・日曜日、 祝日、年末年始	600円	700円	800円

※きょうだい同時利用の場合は、2人目から半額。

① 支援の依頼

おねがい会員(会員登録が必要です)



ファミリーサポートセンター
アドバイザー

依頼の申し込み



会員さんの紹介や
アドバイスをします

あずかり会員(会員登録が必要です)



あずかり会員へ連絡

② マッチング(事前打ち合わせ)

預ける側と預かる側の顔合わせをします。緊急連絡先など、アドバイザーが必要事項を確認します。



④ おむかえ

預かっている間の様子を報告書に記載して、おねがい会員さんへ説明しながら渡します。お互い確認したらサインをして、報酬を支払います。



「また来てね!」「また来るね」
最後はきちんと、さようならのごあいさつ



**③ おねがい&あずかり
(あずかり会員の自宅で預かります)**



←おねがい会員さんが、あずかり会員さんの自宅へお子さんを連れて行きます。さあ、あずかり開始です。



↑お母さんがいなくなり泣いてしまいましたが、大丈夫!あずかり会員さんが優しくあやすとすぐごきげんに!



←お姉ちゃんを幼稚園にお迎えに行ってきました。遊びすぎて眠くなっちゃうこともあります。↓





ファミリーサポは強い味方!

おねがい会員 若菜 奈津美さん(大通り)

北原さんには息子が5カ月のころからお世話になっていきます。私の所用(資格取得の勉強・通院・買い物など)で週1回お願いしています。特に勉強時間となると、子育てをしながらまとまった時間は作りにくいいため、面倒をみてもらえてとてもありがたいです。

北原さんの明るい人柄のおかげで、息子もおじゃまする日が楽しみな様子。おかげさまで安心して用事が済ませられます。夫婦共に頼れる親が近くにいない私たちにとって、ファミサポの支援なしに育児は考えられませんが、今改めて感謝しています。
これからもよろしくお願いします。



あずかり会員の北原真由美さん(左)と、おねがい会員の若菜奈津美さん(右)と文武くん(中央)



文武くんを抱っこする北原さん。まるで本当の家族のよう!

預かりが待ち遠しい!

両方会員 北原 真由美さん(上野町)

ふみくん(ふみたけ)が5カ月の時初めてのお預かり。当時のアドバイザーさんが「私が抱っこしても泣いちゃうけど大丈夫かしら?」と心配そうにしていたのが印象的でした。でも来てみたらママとお別れも泣かず、ニコニコとごきげんに過ごせました。

今は2歳になったふみくん! 恥ずかしそうにやって来ますがお顔はニコニコです。私のことを「くつきーちゃんママ(くつきーはうちの犬の名前)」と呼んでくれて一緒に遊んだり、最近上手になつたおしゃべりしてくれたり、私も毎週金曜日が待ち遠しくなるほど楽しくすごしています。

文武くんの成長記録

成長を見ることができるのもあずかり会員の楽しみです



—最近(2歳)—



—1歳のころ—



—支援当初—



産後サポート会員 及川 幸子さん(二子町)



■会員になったきっかけは
何ですか

広報紙の「空いている時間
でお手伝いを」という記事を見
て、ファミリーサポートを知り
ました。自分の子育ても一段落
したし、何か若い人たちのお手
伝いができればと思って平成20
年6月に会員登録しました。

■産後サポートとはどのような
内容ですか

おねがい会員さんの自宅へ行
き、出産後のお母さんに代わっ
て赤ちゃんの沐浴やオムツ替え
、掃除や洗濯、家族の食事作り
などの家事全般で、依頼された
ことを行います。

■実際に支援をしてみても
うか

いろいろなご家族と知り合
うことができてうれしいですし
、若い人たちの気持ちや

生き方を見ることで、教わるこ
との方が多く自分の勉強にな
ります。

■支援する際に心掛けてい
ることはありますか

赤ちゃんがいるお宅なので家
に入った時、必ずうがい・手洗
いをしますし、子どもとは、し
ゃがんで視線を合わせて話し
ます。食事作りの時は、お母さ
んに栄養を取ってほしいという
気持ちでパランスを考えて作っ
ています。

■長く続けられる秘訣はあり
ますか

依頼は食事作りが多いです
が、私は食事が好きなので、
料理するのも好きです。どの家
庭のお子さんも、好き嫌いな
くピーマンやにんじんも残さ
ずに食べてくれました。だから
続けてこられましたね。

■誰でもできる支援だと思
いますか

できると思っていますよ。た
だ、あくまでお手伝いできた
らいいなという気持ちが大
事だと思います。気分がしま
うとプレッシャーになっ
てしまいますから。

■今後も続けていきますか

とても良いものなので、
続けられるうちは、続けたい
と思っています。

あずかり会員向け講習会



助産師の八重樫重子さんによる講習会「産後ケアの必要性」。いろいろな意見や質問が飛び交い、笑顔も見られました



子育て支援課の佐藤恵美栄養士指導の調理実習。栄養バランスのとれた「ごまだれそうめん」と「ミルクくずもち」を作りました



年2回、あずかり会員と両方会員を対象に講習会
を行っています。救急法や病気について、調理実習
が中心です。真剣に楽しく受講し、会員同士の交流
の場にもなっています。

本年度は、9日に産後ケアと軽食作りについて講
習会が行われました。あずかり会員の山田和子さん
は「講習会は産後のケアや支援に大変役立つ内容で
した。試食付きの調理実習は、とても楽しく、なか
なか食事がすすまない子どもでも喜んで食べられる
メニューで参考になりました。市内の企業も女性の
雇用が増えていると聞いています。ママたちが安心
して子どもを預けて働くには、ファミリーサポー
トの制度は良いと思います」と受講した感想を話し、
有意義な講習であった様子が伺えました。

アドバイザーから

北上市がファミリーサポー
ト事業を展開して12年目にな
ります。サポート件数も増え
確実に地域に浸透してきてい
ると実感しています。

あずかり会員の皆さんには、
ファミリーサポートセンター
の活動にご理解とご協力をい
ただき感謝しています。最初
は、知らない会員さんに子ど
もを預けるので、不安や心配
に思うかもしれませんが、あ
ずかり会員さんほどの子にも
愛情をもって接し、お母さん
たちがゆとりをもって子育て
ができるように、サポートし
てくれています。そのため安
心して次もサポートを依頼し
てくるようです。

あずかり会員実習録中です！

一人でも多くのあずかり会
員がいれば、より多くの依頼
に応じることができます。

「子どもが好き」「育児の経
験を生かしたい」「子育て中
の人のお手伝いをしたい」とい
う人がいましたら、可能な時
間・可能な内容だけの預かり
で良いので、ご連絡ください。

お問い合わせ

ファミリーサポートセンター
64-3312